人材の交流について

～レギュラトリーサイエンスに精通した人材の養成・確保等～

○先端医療等の専門家(研究者)の受入れ

- ・大阪大学医学部から再生医療の専門家(研究者)を受入れたところ(平成23年10月から2年間)であり、今後とも、先端医療等の専門家(研究者)の受入れを推進することとしている。

○人事交流による臨床担当の人材確保

- ・国立高度専門医療研究センター、国立病院、大学等との人事交流による臨床担当の人材確保をより一層推進(臨床担当の半数程度が人事交流による出向者。出向元の施設に戻った後も臨床研究や治験において中心的役割)

○他機関との交流

厚生労働省20名、国立医薬品食品衛生研究所4名、農林水産省1名、文部科学省1名、(独)医薬基盤研究所1名、(独)国立がん研究センター1名、(独)国立精神・神経医療研究センター2名、東京大学1名、山形大学1名、大阪市立大学1名

(平成23年11月1日現在)

○連携大学院構想の推進

- ・レギュラトリーサイエンス研究の普及、情報発信の観点から、連携大学院構想を推進し、これまでに7校の大学院と連携大学院協定を締結
- ・岐阜薬科大学から大学院生1名を修学職員として受入れ、研究指導を実施（平成23年4月～）

（参考）連携大学院（平成23年11月9日現在）

※各大学に、PMDA職員である客員教授等を配置

- ①筑波大学大学院人間総合科学研究科（平成21年12月～）／連携教授2名、連携准教授1名
- ②横浜市立大学大学院医学研究科（平成22年2月～）／客員教授1名
- ③山形大学大学院医学系研究科（平成22年7月～）
- ④岐阜薬科大学大学院薬学研究科（平成22年11月～）／客員教授1名
- ⑤神戸大学大学院医学研究科（平成23年2月～）／客員教授2名
- ⑥千葉大学大学院医学薬学府／医学研究院（平成23年3月～）／客員教授2名
- ⑦武蔵野大学大学院薬科学研究科（平成23年6月～）